

【正誤表】

箇所	誤	正																																																																																																																														
1-26ページ d.環境保全目標 表1-25	<p>表1-25 新ごみ処理施設環境保全目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>法規制値・許容基準値</th> <th>既存施設の自主基準値</th> <th>新施設の自主基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">排ガス</td> <td>ばいじん</td> <td>g/m³N</td> <td>0.08 以下</td> <td>0.01 以下</td> <td>0.01 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素</td> <td>ppm</td> <td>約 430 以下</td> <td>50 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>硫黄酸化物</td> <td>ppm (K 値)</td> <td>(2.34) (※ 1)</td> <td>(2.34) (※ 1)</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>窒素酸化物</td> <td>ppm</td> <td>250 以下</td> <td>150 以下</td> <td>100 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>ng-TEQ /m³N</td> <td>0.1 以下</td> <td>0.1 以下</td> <td>0.05 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>μg/m³N</td> <td>30 以下 (※2)</td> <td>50 以下</td> <td>30 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">騒音</td> <td>朝・夕</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>55 以下</td> <td>55 以下</td> </tr> <tr> <td>昼間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>65 以下</td> <td>65 以下</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>50 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">振動</td> <td>昼間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>65 以下</td> <td>65 以下</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>60 以下</td> <td>60 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値	排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	0.1 以下	0.1 以下	0.05 以下	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下	騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下	振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下	<p>表1-25 新ごみ処理施設環境保全目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>法規制値・許容基準値</th> <th>既存施設の自主基準値</th> <th>新施設の自主基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">排ガス</td> <td>ばいじん</td> <td>g/m³N</td> <td>0.08 以下</td> <td>0.01 以下</td> <td>0.01 以下</td> </tr> <tr> <td>塩化水素</td> <td>ppm</td> <td>約 430 以下</td> <td>50 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>硫黄酸化物</td> <td>ppm (K 値)</td> <td>(2.34) (※ 1)</td> <td>(2.34) (※ 1)</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>窒素酸化物</td> <td>ppm</td> <td>250 以下</td> <td>150 以下</td> <td>100 以下</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>ng-TEQ /m³N</td> <td>1 以下</td> <td>0.1 以下</td> <td>0.05 以下</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>μg/m³N</td> <td>30 以下 (※2)</td> <td>50 以下</td> <td>30 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">騒音</td> <td>朝・夕</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>55 以下</td> <td>55 以下</td> </tr> <tr> <td>昼間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>65 以下</td> <td>65 以下</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>50 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">振動</td> <td>昼間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>65 以下</td> <td>65 以下</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>デシベル</td> <td>規制区域外</td> <td>60 以下</td> <td>60 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値	排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	1 以下	0.1 以下	0.05 以下	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下	騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下	振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下
項目	単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値																																																																																																																												
排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下																																																																																																																											
	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下																																																																																																																											
	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下																																																																																																																											
	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下																																																																																																																											
	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	0.1 以下	0.1 以下	0.05 以下																																																																																																																											
	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下																																																																																																																											
騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下																																																																																																																											
	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																											
	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下																																																																																																																											
振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																											
	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下																																																																																																																											
項目	単位	法規制値・許容基準値	既存施設の自主基準値	新施設の自主基準値																																																																																																																												
排ガス	ばいじん	g/m³N	0.08 以下	0.01 以下	0.01 以下																																																																																																																											
	塩化水素	ppm	約 430 以下	50 以下	50 以下																																																																																																																											
	硫黄酸化物	ppm (K 値)	(2.34) (※ 1)	(2.34) (※ 1)	50 以下																																																																																																																											
	窒素酸化物	ppm	250 以下	150 以下	100 以下																																																																																																																											
	ダイオキシン類	ng-TEQ /m³N	1 以下	0.1 以下	0.05 以下																																																																																																																											
	水銀	μg/m³N	30 以下 (※2)	50 以下	30 以下																																																																																																																											
騒音	朝・夕	デシベル	規制区域外	55 以下	55 以下																																																																																																																											
	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																											
	夜間	デシベル	規制区域外	50 以下	50 以下																																																																																																																											
振動	昼間	デシベル	規制区域外	65 以下	65 以下																																																																																																																											
	夜間	デシベル	規制区域外	60 以下	60 以下																																																																																																																											
2-2ページ 表2-2	<p>表2-2 高質ごみの各成分から推定した排ガス量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>計算式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理論空気量L0</td> <td>(m³N/kg)</td> <td>4.13</td> <td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td> </tr> <tr> <td>空気比 λ</td> <td>-</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw</td> <td>(m³N/kg)</td> <td>6.18</td> <td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd</td> <td>(m³N/kg)</td> <td>5.21</td> <td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ処理量 A</td> <td>(kg/h)</td> <td>5,125</td> <td>124(t/24h)÷24*1000</td> </tr> <tr> <td>排ガス量(湿) 【推定値】</td> <td>(m³N/kg)</td> <td>31,673</td> <td>Vw×A</td> </tr> <tr> <td>排ガス量(乾) 【推定値】</td> <td>(m³N/kg)</td> <td>26,701</td> <td>Vd×A</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	124(t/24h)÷24*1000	排ガス量(湿) 【推定値】	(m³N/kg)	31,673	Vw×A	排ガス量(乾) 【推定値】	(m³N/kg)	26,701	Vd×A	<p>表2-2 高質ごみの各成分から推定した排ガス量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>計算式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理論空気量L0</td> <td>(m³N/kg)</td> <td>4.13</td> <td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td> </tr> <tr> <td>空気比 λ</td> <td>-</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw</td> <td>(m³N/kg)</td> <td>6.18</td> <td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd</td> <td>(m³N/kg)</td> <td>5.21</td> <td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ処理量 A</td> <td>(kg/h)</td> <td>5,125</td> <td>123(t/24h)÷24*1000</td> </tr> <tr> <td>排ガス量(湿) 【推定値】</td> <td>(m³N/h)</td> <td>31,673</td> <td>Vw×A</td> </tr> <tr> <td>排ガス量(乾) 【推定値】</td> <td>(m³N/h)</td> <td>26,701</td> <td>Vd×A</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	123(t/24h)÷24*1000	排ガス量(湿) 【推定値】	(m³N/h)	31,673	Vw×A	排ガス量(乾) 【推定値】	(m³N/h)	26,701	Vd×A																																																														
項目	単位	値	計算式																																																																																																																													
理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																																																																																													
空気比 λ	-	1.3																																																																																																																														
ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																													
ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																													
ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	124(t/24h)÷24*1000																																																																																																																													
排ガス量(湿) 【推定値】	(m³N/kg)	31,673	Vw×A																																																																																																																													
排ガス量(乾) 【推定値】	(m³N/kg)	26,701	Vd×A																																																																																																																													
項目	単位	値	計算式																																																																																																																													
理論空気量L0	(m³N/kg)	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																																																																																													
空気比 λ	-	1.3																																																																																																																														
ごみ1kgあたりのガス量(湿) Vw	(m³N/kg)	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																													
ごみ1kgあたりのガス量(乾) Vd	(m³N/kg)	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																																																																																													
ごみ処理量 A	(kg/h)	5,125	123(t/24h)÷24*1000																																																																																																																													
排ガス量(湿) 【推定値】	(m³N/h)	31,673	Vw×A																																																																																																																													
排ガス量(乾) 【推定値】	(m³N/h)	26,701	Vd×A																																																																																																																													
2-76ページ ア.景観 上から3行目	<p>により確認し、施設が視認可能である主要な地点を抽出した。</p>	<p>により確認し、施設が視認可能と想定される主要な地点を抽出した。</p>																																																																																																																														

箇所	誤	正																																																																
<p>3-9ページ 表3-7</p>	<p>表3-7 高質ごみの各成分から推定した排ガス量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>計算式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理論空気量 L0</td> <td>m³N/kg</td> <td>4.13</td> <td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td> </tr> <tr> <td>空気比 λ</td> <td>-</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ごみ 1kg あたりのガス量 (湿) Vw</td> <td>m³N/kg</td> <td>6.18</td> <td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ 1kg あたりのガス量 (乾) Vd</td> <td>m³N/kg</td> <td>5.21</td> <td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ処理量 A</td> <td>kg/h</td> <td>5,125</td> <td>124(t/24h)÷24×1000</td> </tr> <tr> <td>排ガス量 (湿) 【推定値】</td> <td>m³N/kg</td> <td>31,673</td> <td>Vw×A</td> </tr> <tr> <td>排ガス量 (乾) 【推定値】</td> <td>m³N/kg</td> <td>26,701</td> <td>Vd×A</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量 L0	m ³ N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ 1kg あたりのガス量 (湿) Vw	m ³ N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ 1kg あたりのガス量 (乾) Vd	m ³ N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000	排ガス量 (湿) 【推定値】	m ³ N/kg	31,673	Vw×A	排ガス量 (乾) 【推定値】	m ³ N/kg	26,701	Vd×A	<p>表3-7 高質ごみの各成分から推定した排ガス量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>値</th> <th>計算式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理論空気量 L0</td> <td>m³N/kg</td> <td>4.13</td> <td>8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s</td> </tr> <tr> <td>空気比 λ</td> <td>-</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ごみ 1kg あたりのガス量 (湿) Vw</td> <td>m³N/kg</td> <td>6.18</td> <td>1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ 1kg あたりのガス量 (乾) Vd</td> <td>m³N/kg</td> <td>5.21</td> <td>1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0</td> </tr> <tr> <td>ごみ処理量 A</td> <td>kg/h</td> <td>5,125</td> <td>123(t/24h)÷24×1000</td> </tr> <tr> <td>排ガス量 (湿) 【推定値】</td> <td>m³N/h</td> <td>31,673</td> <td>Vw×A</td> </tr> <tr> <td>排ガス量 (乾) 【推定値】</td> <td>m³N/h</td> <td>26,701</td> <td>Vd×A</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	値	計算式	理論空気量 L0	m ³ N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s	空気比 λ	-	1.3		ごみ 1kg あたりのガス量 (湿) Vw	m ³ N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ 1kg あたりのガス量 (乾) Vd	m ³ N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0	ごみ処理量 A	kg/h	5,125	123(t/24h)÷24×1000	排ガス量 (湿) 【推定値】	m ³ N/h	31,673	Vw×A	排ガス量 (乾) 【推定値】	m ³ N/h	26,701	Vd×A
項目	単位	値	計算式																																																															
理論空気量 L0	m ³ N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																
ごみ 1kg あたりのガス量 (湿) Vw	m ³ N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ 1kg あたりのガス量 (乾) Vd	m ³ N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ処理量 A	kg/h	5,125	124(t/24h)÷24×1000																																																															
排ガス量 (湿) 【推定値】	m ³ N/kg	31,673	Vw×A																																																															
排ガス量 (乾) 【推定値】	m ³ N/kg	26,701	Vd×A																																																															
項目	単位	値	計算式																																																															
理論空気量 L0	m ³ N/kg	4.13	8.89c+26.7(h-o/8)+3.33s																																																															
空気比 λ	-	1.3																																																																
ごみ 1kg あたりのガス量 (湿) Vw	m ³ N/kg	6.18	1.867c+11.2h+1.244W+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ 1kg あたりのガス量 (乾) Vd	m ³ N/kg	5.21	1.867c+0.7s+0.8n+(λ-0.21)L0																																																															
ごみ処理量 A	kg/h	5,125	123(t/24h)÷24×1000																																																															
排ガス量 (湿) 【推定値】	m ³ N/h	31,673	Vw×A																																																															
排ガス量 (乾) 【推定値】	m ³ N/h	26,701	Vd×A																																																															
<p>3-10ページ 表3-9</p>	<p>表3-9 バックグラウンド濃度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>バックグラウンド濃度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄</td> <td>0.001ppm</td> <td>久御山測定局R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素</td> <td>0.01ppm</td> <td>大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質</td> <td>0.015mg/m³</td> <td>大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>0.015pg-TEQ/m³</td> <td>久御山測定局でのR3～R5の年平均値 (1回/年)</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>1.63μg/m³</td> <td>久御山測定局でのR3～R5の年平均値 (1回/年)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	バックグラウンド濃度	備考	二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局R3～R5の年平均値の平均	二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均	浮遊粒子状物質	0.015mg/m ³	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均	ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m ³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値 (1回/年)	水銀	1.63μg/m ³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値 (1回/年)	<p>表3-9 バックグラウンド濃度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>バックグラウンド濃度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄</td> <td>0.001ppm</td> <td>久御山測定局 R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素</td> <td>0.01ppm</td> <td>大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質</td> <td>0.015mg/m³</td> <td>大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>0.015pg-TEQ/m³</td> <td>久御山測定局での R3～R5の年平均値 (1回/年)</td> </tr> <tr> <td>水銀</td> <td>1.63ng/m³</td> <td>久御山測定局での R3～R5の年平均値 (1回/年)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	バックグラウンド濃度	備考	二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局 R3～R5の年平均値の平均	二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均	浮遊粒子状物質	0.015mg/m ³	大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均	ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m ³	久御山測定局での R3～R5の年平均値 (1回/年)	水銀	1.63ng/m ³	久御山測定局での R3～R5の年平均値 (1回/年)																												
項目	バックグラウンド濃度	備考																																																																
二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
浮遊粒子状物質	0.015mg/m ³	大山崎測定局R3～R5の年平均値の平均																																																																
ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m ³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値 (1回/年)																																																																
水銀	1.63μg/m ³	久御山測定局でのR3～R5の年平均値 (1回/年)																																																																
項目	バックグラウンド濃度	備考																																																																
二酸化硫黄	0.001ppm	久御山測定局 R3～R5の年平均値の平均																																																																
二酸化窒素	0.01ppm	大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均																																																																
浮遊粒子状物質	0.015mg/m ³	大山崎測定局 R3～R5の年平均値の平均																																																																
ダイオキシン類	0.015pg-TEQ/m ³	久御山測定局での R3～R5の年平均値 (1回/年)																																																																
水銀	1.63ng/m ³	久御山測定局での R3～R5の年平均値 (1回/年)																																																																
<p>4-6ページ 表4-2</p>	<p>表4-2 知事意見及び事業者(本組合)の見解</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>知事の意見</th> <th>事業者(本組合)の見解</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>(5) 温室効果ガス等</p> <p>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</p> </td> <td> <p>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	知事の意見	事業者(本組合)の見解	<p>(5) 温室効果ガス等</p> <p>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</p>	<p>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</p>	<p>表4-2 知事意見及び事業者(本組合)の見解</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>知事の意見</th> <th>事業者(本組合)の見解</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>(5) 温室効果ガス等</p> <p>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</p> </td> <td> <p>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	知事の意見	事業者(本組合)の見解	<p>(5) 温室効果ガス等</p> <p>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</p>	<p>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</p>																																																								
知事の意見	事業者(本組合)の見解																																																																	
<p>(5) 温室効果ガス等</p> <p>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</p>	<p>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</p>																																																																	
知事の意見	事業者(本組合)の見解																																																																	
<p>(5) 温室効果ガス等</p> <p>排出量低減の検討は、関連する温室効果ガス削減計画も踏まえるとともに、関係車両の走行や廃棄物焼却等の排出要因ごとに切り分けて排出量を算定した上で、できる限り具体的に行うこと。</p>	<p>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</p>																																																																	

箇所	誤	正
----	---	---

4-7ページ
表4-3

表4-3 京都市長意見及び事業者(本組合)の見解

<p>(3) 温室効果ガス 温室効果ガスについて、工事中及び施設供用時の運行車両・建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理等、システム境界を明確にしたうえで各々の排出量を算定するとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、熱回収や廃棄物発電等の環境保全措置についても検討すること。</p>	<p>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)」(令和7年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</p>
--	--

表4-3 京都市長意見及び事業者(本組合)の見解

<p>(3) 温室効果ガス 温室効果ガスについて、工事中及び施設供用時の運行車両・建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理等、システム境界を明確にしたうえで各々の排出量を算定するとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、熱回収や廃棄物発電等の環境保全措置についても検討すること。</p>	<p>温室効果ガスについては、建設工事中、供用時、解体工事中に区分して、運搬車両、建設機械、廃棄物焼却、排ガス処理、ごみ焼却灰処理、電力使用等、システム境界を明確にしたうえで、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.1)」(令和8年3月)に示された方法に準じて各排出量を算定します。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた環境保全措置については、熱回収及び廃棄物発電等の検討を進め、準備書において具体的な排出量低減策について検討します。</p>
--	--

6-2ページ
(1)調査の手法
表6-1

表6-1 大気質調査の手法(大気質)

調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等	
現地調査				
一般環境大気質				
二酸化硫黄	ステーション設置による自動連続測定 ・溶液導電率法又は紫外線蛍光法 (測定高さ：地上1.5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1地点、対象事業実施区域周辺(東西南北、北東)5地点 (図6-1参照)	各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定) (1地点につき1検体/7日間)	
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)			
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)			
微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)			
ダイオキシン類	サンプリング分析(簡易測定) ・ハイボリューム・エアサンプラー捕集、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計による方法 (測定高さ：地上3m)			
塩化水素	サンプリング分析(簡易測定) ・イオンクロマトグラフ法 (測定高さ：地上1.5m)			各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/1日)
水銀	サンプリング分析(簡易測定) ・金アマルガム捕集・加熱気化、非分散冷原子吸光法 (測定高さ：地上1.5m)			
降下ばいじん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2~5m)			各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)

表6-1 大気質調査の手法(大気質)

調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等
現地調査			
一般環境大気質			
二酸化硫黄	ステーション設置による自動連続測定 ・溶液導電率法又は紫外線蛍光法 (測定高さ：地上1.5m)	(地域) 調査地域 (地点) 対象事業実施区域1地点、対象事業実施区域周辺(東西南北、北東)5地点 (図6-1参照)	各季1週間(7日間)(※) (1時間値測定)
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)		
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)		
微小粒子状物質	サンプリング分析(簡易測定) ・濾過捕集による質量濃度測定方法(測定高さ：地上3m)		各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/日)
ダイオキシン類	サンプリング分析(簡易測定) ・ハイボリューム・エアサンプラー捕集、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計による方法 (測定高さ：地上3m)		各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/7日間)
塩化水素	サンプリング分析(簡易測定) ・イオンクロマトグラフ法 (測定高さ：地上1.5m)		各季1週間(7日間)(※) (1地点につき1検体/日)
水銀	サンプリング分析(簡易測定) ・金アマルガム捕集・加熱気化、非分散冷原子吸光法 (測定高さ：地上1.5m)		
降下ばいじん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2~5m)		各季1ヵ月(30日間)(※) (1地点につき1検体/月)

箇所	誤	正																																						
<p>6-3ページ 6-1-1大気質 表6-1 現地調査 沿道大気質 調査期間等</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>調査手法</th> <th>調査対象地域・地点</th> <th>調査期間等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">沿道大気質</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)</td> <td rowspan="4">(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)</td> <td rowspan="4">各季 1 週間 (7日間) (※) (1 時間値測定) (1 地点につき 1 検体/日)</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)</td> </tr> <tr> <td>微小粒子状物質</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)</td> </tr> <tr> <td>粉じん</td> <td>サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)</td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等	沿道大気質				浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7日間) (※) (1 時間値測定) (1 地点につき 1 検体/日)	二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)	微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)	粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>調査手法</th> <th>調査対象地域・地点</th> <th>調査期間等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">沿道大気質</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)</td> <td rowspan="4">(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)</td> <td rowspan="2">各季 1 週間 (7日間) (※) (1 時間値測定)</td> </tr> <tr> <td>二酸化窒素</td> <td>ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)</td> </tr> <tr> <td>微小粒子状物質</td> <td>サンプリング分析 (簡易分析) ・濾過捕集による質量濃度測定方法 (測定高さ：地上3m)</td> <td>各季 1 週間 (7日間) (※) (1 地点につき 1 検体/日)</td> </tr> <tr> <td>粉じん</td> <td>サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)</td> <td>各季 1 ヶ月 (30日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)</td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等	沿道大気質				浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7日間) (※) (1 時間値測定)	二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)	微小粒子状物質	サンプリング分析 (簡易分析) ・濾過捕集による質量濃度測定方法 (測定高さ：地上3m)	各季 1 週間 (7日間) (※) (1 地点につき 1 検体/日)	粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)	各季 1 ヶ月 (30日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)
調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等																																					
沿道大気質																																								
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7日間) (※) (1 時間値測定) (1 地点につき 1 検体/日)																																					
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)																																							
微小粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・濾過捕集による質量濃度測定方法又はこの方法によって測定された質量濃度と等価な値が得られると認められる自動測定機による方法 (測定高さ：地上3m)																																							
粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)																																							
調査項目	調査手法	調査対象地域・地点	調査期間等																																					
沿道大気質																																								
浮遊粒子状物質	ステーション設置による自動連続測定 ・ベータ線吸収法 (測定高さ：地上3m)	(地域) 運搬車両の走行道路沿道 (地点) 運搬車両の走行ルート (A) (B) の2地点 (図 6-2 参照)	各季 1 週間 (7日間) (※) (1 時間値測定)																																					
二酸化窒素	ステーション設置による自動連続測定 ・ザルツマン試薬を用いる吸光光度法又はオゾンを用いる化学発光法 (測定高さ：地上1.5m)																																							
微小粒子状物質	サンプリング分析 (簡易分析) ・濾過捕集による質量濃度測定方法 (測定高さ：地上3m)		各季 1 週間 (7日間) (※) (1 地点につき 1 検体/日)																																					
粉じん	サンプリング分析 ・ダストジャーによる捕集法、重量法 (測定高さ：地上2～5m)		各季 1 ヶ月 (30日間) (※) (1 地点につき 1 検体/月)																																					
<p>6-8ページ オ. 調査期間等 a.大気質汚染物質 上から3行目 ～6行目</p>	<p>二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び微小粒子状物質は、各季1週間(7日間)、自動測定機器にて1時間値を測定する。 ダイオキシン類は、各季1週間(7日間)の連続吸引による試料採取を行う。 塩化水素及び水銀は、各季1週間(7日間)、1検体/日・地点の試料採取を行う。</p>	<p>二酸化硫黄、浮遊粒子状物質及び二酸化窒素は、各季1週間(7日間)、自動測定機器にて1時間値を測定する。 ダイオキシン類は、各季1週間(7日間)の連続吸引による試料採取を行う。 微小粒子状物質、塩化水素及び水銀は、各季1週間(7日間)、1検体/日・地点の試料採取を行う。</p>																																						

箇所	誤				正				
<p>6-10ページ (2)予測の手法 表6-4</p>	予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等	予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等	
	供用時								
	施設の稼働（煙突排出ガス）								
	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、微小粒子状物質濃度の年平均値及び1時間値								
	[年平均値]	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施）	(地域) 調査地域 (地点) 事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期	[年平均値]	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施）	(地域) 調査地域 (地点) 事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期	
	[1時間値]	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）			[1時間値]	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）			
	降下ばいじんの月平均値								
	[月平均値]	類似施設の調査結果を参考に、新施設の稼働による負荷、環境保全対策などを踏まえた定性的な予測	(地域) 調査地域 (地点) 事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期	[月平均値]	類似施設の調査結果を参考に、新施設の稼働による負荷、環境保全対策などを踏まえた定性的な予測	(地域) 調査地域 (地点) 事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期	
	ダイオキシソ類及び水銀濃度の年平均値								
	[年平均値]	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施）	(地域) 調査地域 (地点) 事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期	[年平均値]	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（参考として、地形影響を考慮した3次元移流拡散モデルによる濃度予測も実施）	(地域) 調査地域 (地点) 事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期	
塩化水素濃度の1時間値									
	「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	(地域) 調査地域 (地点) 事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期		「窒素酸化物総量規制マニュアル（新版）」（平成12年、公害研究対策センター）及び「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」（昭和61年、厚生省生活衛生局監修）に示されたブルーム・パフモデルを基本とした大気拡散モデルにより計算（一般的な気象条件時、上層逆転層出現時、ダウンウォッシュ時、接地逆転層崩壊時を基本）	(地域) 調査地域 (地点) 事業実施に伴う影響範囲	事業活動が定常状態となる時期		
施設の稼働（粗大ごみ処理設備等）									
粉じん									
	同種・同規模の破砕処理設備における事後調査結果及び排出実態を踏まえた定性的な予測	(地域) 対象事業実施区域周辺 (地点) 対象事業実施区域周辺（敷地境界周辺）	事業活動が定常状態となる時期		同種・同規模の破砕処理設備における事後調査結果及び排出実態を踏まえた定性的な予測	(地域) 対象事業実施区域周辺 (地点) 対象事業実施区域周辺（敷地境界周辺）	事業活動が定常状態となる時期		

箇所	誤	正
<p>6-13ページ 図6-3</p>	<p>事業計画</p> <p>↓</p> <p>予測時期の設定</p> <p>↓</p> <p>建設機械の稼働条件設定 〔・種類、規格、台数、配置〕 〔・稼働条件等〕</p> <p>排出係数 →</p> <p>立地特性 →</p> <p>↓</p> <p>発生源のモデル化 汚染物質排出量</p> <p>↓</p> <p>気象特性 〔・地上気象調査〕</p> <p>↓</p> <p>気象条件 〔・風向、風速〕 〔・大気安定度 等〕</p> <p>↓</p> <p>窒素酸化物から 二酸化窒素へ変換</p> <p>↓</p> <p>年平均値寄与濃度 (NO₂、SPM、PM_{2.5}の付加濃度)</p> <p>↓</p> <p>バックグラウンド濃度 →</p> <p>↓</p> <p>年平均環境濃度 (NO₂、SPM、PM_{2.5})</p> <p>↓</p> <p>日平均値への変換 →</p> <p>日平均値の年間98%値又は2%除外値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化窒素(年間98%値) ・浮遊粒子状物質(2%除外値) 	<p>事業計画</p> <p>↓</p> <p>予測時期の設定</p> <p>↓</p> <p>建設機械の稼働条件設定 〔・種類、規格、台数、配置〕 〔・稼働条件等〕</p> <p>排出係数 →</p> <p>立地特性 →</p> <p>↓</p> <p>発生源のモデル化 汚染物質排出量</p> <p>↓</p> <p>気象特性 〔・地上気象調査〕</p> <p>↓</p> <p>気象条件 〔・風向、風速〕 〔・大気安定度 等〕</p> <p>↓</p> <p>窒素酸化物から 二酸化窒素へ変換</p> <p>↓</p> <p>年平均値寄与濃度 (NO₂、SPM、PM_{2.5}の付加濃度)</p> <p>↓</p> <p>バックグラウンド濃度 →</p> <p>↓</p> <p>年平均環境濃度 (NO₂、SPM、PM_{2.5})</p> <p>↓</p> <p>日平均値への変換 →</p> <p>日平均値の年間98%値、2%除外値又は年間98パーセンタイル値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化窒素(年間98%値) ・浮遊粒子状物質(2%除外値) ・微小粒子状物質(年間98パーセンタイル値)
	<p>図6-3 建設機械等の稼働による大気質の予測手順</p>	<p>図6-3 建設機械等の稼働による大気質の予測手順</p>

箇所	誤	正
6-15ページ d.供用時の施設の稼働(煙突排ガス) 上から4行目 ~5行目	微小粒子状物質については、 <u>年間の平均的な気象条件での年平均値及び短時間高濃度発生条件での1時間値</u> とする。	微小粒子状物質については、 <u>年間の平均的な気象条件での年平均値</u> とする。
6-15ページ d.供用時の施設の稼働(煙突排ガス) 上から6行目	ダイオキシン類については、 <u>月間の平均的な堆積量(月間降下量、年平均値)</u> とする。	ダイオキシン類については、 <u>年間の平均的な気象条件での年平均値</u> とする。
6-15ページ d.供用時の施設の稼働(煙突排ガス) 上から8行目	水銀については、 <u>月間の平均的な堆積量(月間降下量、年平均値)</u> とする。	水銀については、 <u>年間の平均的な気象条件での年平均値</u> とする。

箇所	誤	正
<p>6-16ページ 図6-5</p>	<p>事業計画</p> <p>発生源の条件 〔・排出ガスの諸元 ・稼働条件等〕</p> <p>立地特性</p> <p>予測範囲の設定</p> <p>気象特性 〔・地上気象調査 ・高層気象調査〕</p> <p>気象条件 〔・風向、風速 ・大気安定度 等〕</p> <p>汚染物質排出量</p> <p>大気拡散計算</p> <p>年平均値寄与濃度 (SO₂、NO₂、SPM、DXN、Hg、HClの付加濃度)</p> <p>バックグラウンド濃度 (年平均値又は1時間値)</p> <p>年平均環境濃度 (SO₂、NO₂、SPM、DXN、Hg)</p> <p>1時間値環境濃度 (SO₂、NO₂、SPM、HCl)</p> <p>日平均値への変換</p> <p>日平均値の年間98%値又は2%除外値 ・二酸化窒素(年間98%値) ・二酸化硫黄、浮遊粒子状物質(2%除外値)</p> <p>図6-5 施設の稼働による大気質の予測手順</p>	<p>事業計画</p> <p>発生源の条件 〔・排出ガスの諸元 ・稼働条件等〕</p> <p>立地特性</p> <p>予測範囲の設定</p> <p>気象特性 〔・地上気象調査 ・高層気象調査〕</p> <p>気象条件 〔・風向、風速 ・大気安定度 等〕</p> <p>汚染物質排出量</p> <p>大気拡散計算</p> <p>年平均値寄与濃度 (SO₂、NO₂、SPM、PM_{2.5}、DXN、Hg、HClの付加濃度)</p> <p>バックグラウンド濃度 (年平均値又は1時間値)</p> <p>年平均環境濃度 (SO₂、NO₂、SPM、PM_{2.5}、DXN、Hg)</p> <p>1時間値環境濃度 (SO₂、NO₂、SPM、HCl)</p> <p>日平均値への変換</p> <p>日平均値の年間98%値、2%除外値又は年間98パーセンタイル値 ・二酸化窒素(年間98%値) ・二酸化硫黄、浮遊粒子状物質(2%除外値) ・微小粒子状物質(年間98パーセンタイル値)</p> <p>図6-5 施設の稼働による大気質の予測手順</p>

箇所	誤	正																																																																																																																																
<p>6-32ページ 6-2-3振動 表6-14 供用時 予測地域・地点</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">供用時</th> </tr> <tr> <th colspan="3">施設の稼働</th> </tr> <tr> <td colspan="3">工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td> <td>（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）</td> <td>事業活動が定常状態となる時期</td> </tr> <tr> <th colspan="3">廃棄物運搬車両等の走行</th> </tr> <tr> <th colspan="3">道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）</th> </tr> <tr> <td>「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td> <td>（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-11参照）</td> <td>供用時による環境影響が最大となる時期</td> </tr> </table>	供用時			施設の稼働			工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）			「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期	廃棄物運搬車両等の走行			道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）			「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-11参照）	供用時による環境影響が最大となる時期	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">供用時</th> </tr> <tr> <th colspan="3">施設の稼働</th> </tr> <tr> <td colspan="3">工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）</td> </tr> <tr> <td>「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td> <td>（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）</td> <td>事業活動が定常状態となる時期</td> </tr> <tr> <th colspan="3">廃棄物運搬車両等の走行</th> </tr> <tr> <th colspan="3">道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）</th> </tr> <tr> <td>「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算</td> <td>（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-11参照）</td> <td>供用時による環境影響が最大となる時期</td> </tr> </table>	供用時			施設の稼働			工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）			「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期	廃棄物運搬車両等の走行			道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）			「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-11参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																						
供用時																																																																																																																																		
施設の稼働																																																																																																																																		
工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																		
「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期																																																																																																																																
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																		
道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																		
「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-11参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																																																																
供用時																																																																																																																																		
施設の稼働																																																																																																																																		
工場・事業場振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																		
「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針（平成18年9月 環境省）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）対象事業実施区域周辺 （地点）対象事業実施区域（敷地境界）（振動レベルが最大となる地点）	事業活動が定常状態となる時期																																																																																																																																
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																		
道路交通振動（振動レベル80%レンジ上端値）																																																																																																																																		
「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版 土木研究所資料第4254号）」に示された振動の伝搬計算式により数値計算	（地域）運搬車両の走行道路沿道 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-11参照）	供用時による環境影響が最大となる時期																																																																																																																																
<p>6-96ページ 表6-51</p>	<p style="text-align: center;">表6-51 温室効果ガスの予測の手法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測項目</th> <th>予測の基本的な手法</th> <th>予測地域・地点</th> <th>予測対象時期等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">建設工事中</td> </tr> <tr> <td colspan="4">建設機械等の稼働</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域・地点）対象事業実施区域</td> <td>工事期間</td> </tr> <tr> <td colspan="4">資材等の運搬車両の走行</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）</td> <td>工事期間</td> </tr> <tr> <td colspan="4">供用時</td> </tr> <tr> <td colspan="4">施設の稼働</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域・地点）対象事業実施区域</td> <td>供用時</td> </tr> <tr> <td colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）</td> <td>供用時</td> </tr> <tr> <td colspan="4">解体工事中</td> </tr> <tr> <td colspan="4">建設機械等の稼働</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域・地点）対象事業実施区域</td> <td>工事期間</td> </tr> <tr> <td colspan="4">資材等の運搬車両の走行</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）</td> <td>工事期間</td> </tr> </tbody> </table>	予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等	建設工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間	資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間	供用時				施設の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時	廃棄物運搬車両等の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時	解体工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間	資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間	<p style="text-align: center;">表6-51 温室効果ガスの予測の手法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測項目</th> <th>予測の基本的な手法</th> <th>予測地域・地点</th> <th>予測対象時期等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">建設工事中</td> </tr> <tr> <td colspan="4">建設機械等の稼働</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域・地点）対象事業実施区域</td> <td>工事期間</td> </tr> <tr> <td colspan="4">資材等の運搬車両の走行</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）</td> <td>工事期間</td> </tr> <tr> <td colspan="4">供用時</td> </tr> <tr> <td colspan="4">施設の稼働</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域・地点）対象事業実施区域</td> <td>供用時</td> </tr> <tr> <td colspan="4">廃棄物運搬車両等の走行</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）</td> <td>供用時</td> </tr> <tr> <td colspan="4">解体工事中</td> </tr> <tr> <td colspan="4">建設機械等の稼働</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域・地点）対象事業実施区域</td> <td>工事期間</td> </tr> <tr> <td colspan="4">資材等の運搬車両の走行</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガスの排出量</td> <td>「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定</td> <td>（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）</td> <td>工事期間</td> </tr> </tbody> </table>	予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等	建設工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間	資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間	供用時				施設の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時	廃棄物運搬車両等の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時	解体工事中				建設機械等の稼働				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間	資材等の運搬車両の走行				温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間
予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等																																																																																																																															
建設工事中																																																																																																																																		
建設機械等の稼働																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																															
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																															
供用時																																																																																																																																		
施設の稼働																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時																																																																																																																															
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時																																																																																																																															
解体工事中																																																																																																																																		
建設機械等の稼働																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																															
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0」（令和7年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																															
予測項目	予測の基本的な手法	予測地域・地点	予測対象時期等																																																																																																																															
建設工事中																																																																																																																																		
建設機械等の稼働																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																															
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																															
供用時																																																																																																																																		
施設の稼働																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	供用時																																																																																																																															
廃棄物運搬車両等の走行																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）の1地点（図6-6参照）	供用時																																																																																																																															
解体工事中																																																																																																																																		
建設機械等の稼働																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域・地点）対象事業実施区域	工事期間																																																																																																																															
資材等の運搬車両の走行																																																																																																																																		
温室効果ガスの排出量	「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.1」（令和8年3月、環境省・経済産業省）に基づき算定	（地域）運搬車両の走行道路 （地点）運搬車両の走行ルート（A）（B）の2地点（図6-6参照）	工事期間																																																																																																																															

箇所	誤	正
<p>6-97ページ ア. 予測の基本的な手法 上から7行目</p>	<p>算定は、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル (Ver6.0)」に示された方法に準じて行う。</p>	<p>算定は、最新の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル (Ver6.1)」に示された方法に準じて行う。</p>

以上